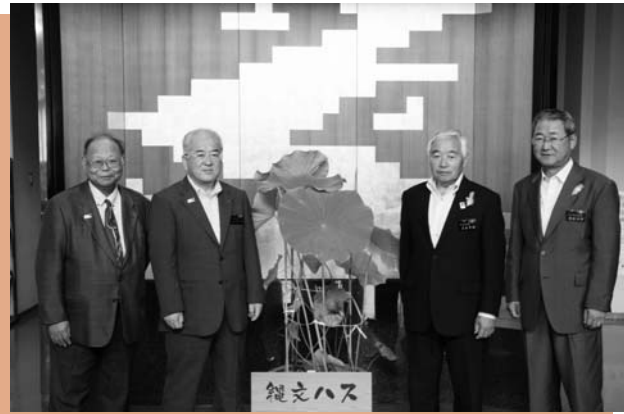


古代ハス「縄文ハス」を株分け 藤沢から町へ、友好の証しとして

9月24日、一関市藤沢町で育てられている「縄文ハス」が町に株分けされ、役場で引き渡し式が行われました。

藤沢町の縄文ハスと町の中尊寺ハスは、いずれも植物学者の故大賀一郎さんによって発見された古代ハスだったことがきっかけで、両市町の友好の証しとして、本年8月に行われた藤沢野焼祭で、苗を交換する目録を交換していました。

株分けされた縄文ハスは、町内の休耕田で管理され、順調に育てば、来年8月ごろには淡い桃色の花が楽しめます。



車いすで中尊寺月見坂を登る 受け入れ態勢整備に向けて体験会

障がい者や高齢者など車いす利用者の参拝をサポートする「弁慶とともに登る中尊寺・月見坂車いす体験会」(同体験会実行委員会主催)が、9月26日中尊寺で開かれました。

天気はあいにくの雨模様となりましたが、県内外から15～100歳の車いす利用者12人が参加。ボランティアやスタッフらとともに、世界遺産「平泉の文化遺産」の代表的な構成資産である表参道の月見坂の景観を楽しみながら本堂や金色堂を目指しました。

株式会社フタバ平泉が日本赤十字社表彰 赤十字事業の進展に貢献

日本赤十字社へ多額の社資を寄せられ、赤十字事業の進展に貢献されたことに対し、株式会社フタバ平泉(西山一雄代表取締役)が、10月1日に銀色有功章を受章されました。

平成12年2月に創立された同社は、翌年13年から日本赤十字社への支援を続けています。

また日本赤十字社が行っている献血事業についても積極的に参加しており、西山代表取締役は「長年行っている献血を今後も協力していきたい」と語っていました。



幻想的な舞台で観客を魅了 金鶏山夜神楽

10月3日、文化遺産センターを会場に、世界遺産登録5周年イベントとして金鶏山夜神楽が開催されました。

屋外に設けられた特設ステージで、かがり火がたかれた幻想的な雰囲気の中、南部神楽の流れをくむ岩手県南、宮城県北の5団体が伝統の舞を披露しました。訪れた観客約200人は、いつもとは違った雰囲気の中で舞う美しさに目を奪われ、会場は演目が終わるたびに大きな拍手で包まれていました。



元気いっぱい競技や遊戯 平泉保育所・町立幼稚園の運動会

平泉保育所と町立幼稚園の運動会が9月26日、平泉小学校体育館で開催されました。

かけっこや親子チャンスレースなどの種目が行われ、子どもたちは元気いっぱいに走り、保護者の拍手や声援を受けながら、競技や遊戯に伸び伸びと臨んでいました。

5歳児によるマスゲームでは、子どもたち一人一人の力を合わせた演技が披露され、保護者はその演技に見入り、終了後は体育館いっぱいに拍手が鳴り響きました。

1 最後までどちらが勝つかわからない展開となった「3歳児紅白リレー」/ 2 力いっぱい綱を引いて勝利を引き寄せた5歳児による「つなひき」/ 3 ぐるぐるバットで目が回り転倒者が続出した5歳児親子チャンスレース「きみもアスリートだ!」/ 4 その美しい演技に会場中が沸いた5歳児によるマスゲーム「HANDS UP!」/ 5 親と子の協調性が試された4歳児親子チャンスレース「とれたてやさいをどうぞ」/ 6 1等賞目指して駆け抜けた1～5歳児による「かけっこ」/ 7 3歳児親子チャンスレース「オオカミに気を付ける」/ 8 子どもたちのかわいい仮装とダンスに癒された3歳児による「ブタのだいぼうけん」